EVENT GUIDE

8月-9月のイベント

親子でつくろう工作教室 **竹細工「四海波かご」**	8/3 日 13:00-14:30	竹ひごを編んで縁が4つの波形になる四海波(しかいなみ)かごを作ります。	要予約 定員:親子６組 料金:100円(高校生以下)
夏休み天体観察会	8/9 土 8/10 日 ①20:00-20:45 ②21:00-21:45	夏休みに2夜連続で天体観察会を開催します。 ※7月2日(水)よりホームページにて受付開始	要予約 定員:60名 料金:大人300円 小中高生:100円
月イチガク⑤ **三瓶に砲声響いた頃** ～三瓶原演習場と農民道場～	8/16 土 14:00-15:30	戦前まで陸軍演習場だった三瓶山。今も残る関連遺構を紹介して、その歴史を探ります。	要予約 定員:会場20名 料金:入館料
和紙のちぎり絵で惑星をつくろう	8/17 日 13:00-16:00	発泡スチロールの球体に和紙をちぎって貼り付け、リアルな惑星をつくります。	要予約 定員:10人 料金:1人1,000円
きっずサンデー	8/17 日 9/21 日	島根県の「しまね家庭の日」にあわせ、きっずプラネタリウムやテンピーとのふれあいなど、キッズ向けイベントが満載の1日。※保護者同伴で小中高生無料	定員:なし 料金:入館料
さわってみよう♪ **わくわくワゴン**	8/24 日 9/28 日	普段はさわることができない標本ですが、この日はワゴンに乗って登場!楽しいお話で生き物の不思議にせまります。	定員:なし 料金:入館料
親子でつくろう工作教室 **木の実の工作**	8/24 日 13:00-14:30	木の実や枝を使って動物など好みの作品を作ります。	要予約 親子:６組 料金:100円（高校生以下）
宇宙工作まつり	8/31 日 10:30-15:00	宇宙をテーマにした工作を楽しむブースが集合。夏の企画展とあわせてお楽しみ下さい。 ※当日整理券を配布	定員:40組 料金:1人100円 （＋入館料が必要）
皆既月食 **インターネット中継**	9/8 月 1:00-5:00	この日の未明に見られる皆既月食を、インターネットを使って動画生配信します。 ※YouTube配信のURLは当館のホームページに記載	オンラインのみ 定員:なし 料金:無料
秋の天体観察会	9/13 土 9/14 日 ①19:00-19:45 ②20:00-20:45	9月の3連休は2夜連続で天体観察会を開催します。天の川と銀河などの天体をお楽しみ下さい。 ※8月1日(金)よりホームページにて受付開始	要予約 定員:60名 料金:大人300円 小中高生:100円
月イチガク⑥フィールドワーク **墓場放浪記in温泉津** ～港から出る石・入る石～	9/20 土 13:00-14:30	温泉津の墓石を見ると船運の歴史が見える!?まちあるきをしながら、その歴史を探ります。	要予約 定員:20名 料金:100円
字幕付きプラネタリウム **月を見上げて**	9/15 月 ～ 9/21 日 10:00-10:20	解説の声と字幕で月を紹介するプラネタリウム番組を投影します。	要予約 定員:100名（先着順） 料金:入館料

三瓶自然館：0854-86-0500　三瓶小豆原埋没林公園：0854-86-9500（さんべ縄文の森ミュージアム）　三瓶山北の原キャンプ場：0854-86-0152

※ 要予約 マークのイベントは1ヶ月前より電話にて予約受付を行います。
※イベントが変更・中止の場合はHP等でお知らせします。※毎週土曜日の天体観察会は予約制（HPから、その他はお電話）で実施しています。
※４～11月の毎週土曜日「北の原お散歩ツアー」、日曜日・祝日「天文ミニガイド」は入館された方を対象に予約不要で開催しています。

島根県立三瓶自然館サヒメル

○開館時間/9:30～17:00
○休館日/毎週火曜日
（火曜日が祝日の場合は翌平日）
年末年始、その他、メンテナンス休館あり

三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>
編集・発行　公益財団法人しまね自然と環境財団
〒694-0003　島根県大田市三瓶町多根1121-8
TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501
<エコサポしまね> 〒690-0887　島根県松江市殿町8-3　TEL 0852-67-3262
しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサポしまね（松江事務所）では、地球温暖化対策等の事業を行っています。

Sanbe Field Museum News

さんべ発!

No.191　2025年7月号
島根県立三瓶自然館 ニュースレター

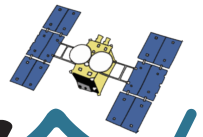
みちしるべ

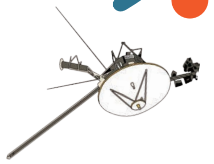
夏の日、山道を歩く先をふわっと飛び立つ虫がいます。日差しを浴びて宝石のような光を放ちながら、道の少し先に降り立つ虫はハンミョウの仲間。三瓶山では山頂付近に広がる草原の道で多く見られ、翅を閉じると土の色にまぎれて目立たないものと、地面でも色鮮やかなものがいます。

このハンミョウの仲間は、「みちしるべ」「みちおしえ」の別称があります。近づくと飛び立ち、草むらなどに逃げることなく、道の先に降りることが多いので、「道案内人」にみたてられた呼び名です。この虫は開けた地面の上で過ごし、人から逃げても土がむき出しの道に降ります。このような土の地面に直径5mmくらいの小さな穴があれば、ハンミョウの幼虫がすんでいるかも知れません。松葉を穴に立て、噛みついた幼虫をつり上げる遊びがありましたが、土がむき出しの場所が減るとハンミョウは少なくなり、「ハンミョウ釣り」を知る人も少なくなりました。

令和7年度夏の特別企画展

太陽系の大冒険!





令和7年度
夏の特別企画展 **太陽系大冒険!**

会期:7月19日(土)～9月28日(日)/休館日:9月2、9、16、24日
料金:大人1,000円/小中高校生200円

太陽系を調べよう

「太陽系」とは、太陽を中心として、たくさんの仲間の天体がその周りを回る一つの家族のようなものです。

地球を含め、大きめの天体8つをまとめて惑星と呼びます。このほかにも惑星の衛星や準惑星、小惑星、彗星…と実に多くの仲間の天体があります。地球に住んでいる限り、私たちはこれらの天体のことを「遠くから見る」ことしかできません。

そこで、もっと詳しく知るために、たくさんの探査機をロケットに載せて打ち上げています。近くで「じっくり見たり」その天体に「降りたり」、あるいはそこからその天体の「カケラを持ち帰ったり」。こうした探査によって、太陽系誕生とその進化の謎を解き明かし、将来的に人類が太陽系に進出していく足がかりとなることが期待されます。

この月・惑星探査がテーマの夏の特別企画展**「太陽系大冒険!」**から、その一部をご紹介します。

未来のフロンティア・火星

太陽系の第4惑星・火星。月の次に人類が向かう天体とされ、数多くの探査機の調査によって、水の存在もわかってきました。そして現在、日本が打ち上げを目指している「MMX※」という探査機は、世界で初めて火星の衛星からサンプルを持ち帰る計画です。

※MMX＝Martian Moons eXploration(火星衛星探査計画)

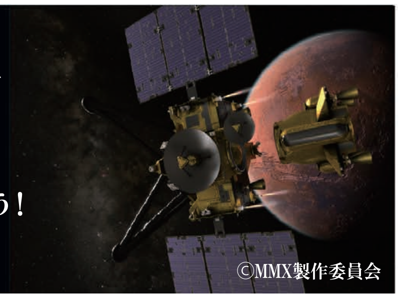
火星の地形など表した「火星儀」

\\ PickUp! // 企画展期間限定の番組を上映

期間限定
特別上映

MMX -Martian Moons eXploration-
火星衛星探査計画

企画展に合わせてMMXを紹介する大型ドーム映像を上映します。
美しいCGと圧倒的な迫力の特別番組。みんなでMMXを応援しよう!
(期間中平日3回/土日祝4回上映)



©MMX製作委員会

小惑星のカケラを持ち帰れ!・はやぶさ２

日本の小惑星探査機「はやぶさ２」は、2020年に小惑星リュウグウのカケラ(サンプル)を地球に届けることに成功しました。展示室ではこのはやぶさ２(1/2模型)がお出迎え。そしてなんと、地球に届いた小惑星リュウグウの本物のカケラも登場!はるかな小惑星を間近に感じてみましょう。

「はやぶさ２」の1/2模型

いろいろな体験展示

探査機の仕組みを学べる組み立て体験キットや、ほかの惑星では自分の体重がどう変化するか計算するコーナーなど体験展示も盛りだくさん。サヒメル横に広がる北の原で太陽系の広さを実感できる太陽系ウォークにも挑戦できます。

(学芸課天文事業室　太田哲朗)

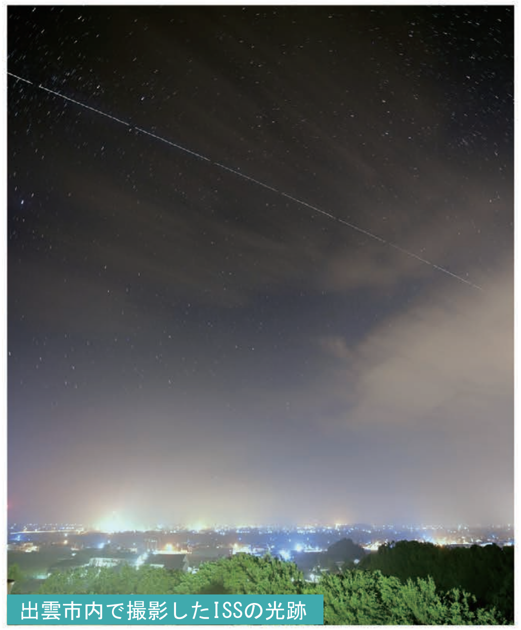
未来の月面車と宇宙服

ISS(国際宇宙ステーション)を見よう

地球の周りを回る衛星はただ一つ、月があるのみですが、人が作った衛星、すなわち人工衛星を含めると、その数は1万をはるかに超えます。人工衛星が太陽の光を反射して星空の中を動いていく様子は、地上からもよく見られます。

その中でもお勧めなのが国際宇宙ステーション(ISS)です。サッカー場ぐらいの大きさがあるISSは、最も明るく見える人工衛星の一つといえます。ISSがいつどこに見えるかは、「#きぼうを見よう」というウェブサイトに詳しく出ていますので、検索してみてください。

ISSはまるでライトを灯した飛行機のようにも見えますが、点滅せずゆっくりと動いていきます。また、数秒から数十秒間シャッターを開けられるカメラかスマホなら、写真に撮ることもできます。その場合、ISSの動きが線になって写ります。大西宇宙飛行士が滞在しているISSをぜひ見てください。



出雲市内で撮影したISSの光跡

(学芸課天文事業室　竹内幹蔵)

Shimane Nature Museum of Mt.Sanbe